

# 第36回定期本部委員会開催!!



2023 春季生活闘争勝利に向けて  
大谷執行委員長による力強い団結ガンバロー!

**2023 春季生活闘争方針を満場一致で決定!**  
**今後のJR四国労働運動の土台となる**  
**労働政策提言『ユニオンビジョン2023』策定!**

JR四国労組は2月6日(月)、香川県宇多津町「ホテルアネシス瀬戸大橋」にて第36回定期本部委員会を開催。本部委員及び特別本部委員、傍聴者全員が会場に集結し、来賓含め約100名出席のもと「安全・安定・安心輸送の確立」「2023 春季生活闘争」「政策課題解決」「統一地方選勝利」など当面の取り組みについて満場一致で決定した。

本部定期委員会は、13時より中野執行委員の開会挨拶で開幕。冒頭、執行部を代表し挨拶に立った大谷執行委員長は、日夜、職場で奮闘する組合員に敬意を表するとともに、「コロナ禍も3年が経過し、行動制限の緩和や人流の回復、新型コロナ5類引き下げの動きなど、明るい兆しが見えてきた」と述べた。その後、当面の取り組みについて、本委員会で提起する労働政策提言『ユニオンビジョン2023』に触れつつ所信を表明。目前に迫った春闘について「JR四国並びにジェイアール四国バスは依然として経営改善が見通せない状況であり、厳しい交渉が想定されるが、誇りを持ち、安心して働き続けることのできる環境づくりに向け、組合員の想いを結集した提言を活用しながら交渉に臨む。『人への投資』を何としてでも勝ち取る」と述べた。

- ◆来賓の皆様 (順不同)**
- 連合香川 福家 良一 会長
  - 四国交通労働協 砂田 篤志 議長
  - JR四国労働議員団公議 山本 悟史 団長
  - (香川県議会議員) 橋本 敏男 幹事長
  - (高知県議会議員) JR連合 宮野 勇馬 企画局長

- ◆祝電・メッセージ (順不同)**
- JR北海道労働組合
  - ジェイアール・イーストユニオン
  - 東海旅客鉄道労働組合
  - 西日本旅客鉄道労働組合
  - 九州旅客鉄道労働組合
  - 日本貨物鉄道産業界労働組合
  - 全国交通共済生協
  - 浅岡 秀幸 本部長



議長に選出された河野本部委員

大会には来賓として、連合四国ブロックより連合香川・福家会長、四国交通労働協・砂田議長らが出席し、連帯と激励の挨拶を受けた。

**◆大谷執行委員長 挨拶(要旨)**



**安全・安定・安心輸送の確立について**

「安全の確立」はJR四国労働運動の最重要課題であり、チェック・提言機能を活かした取り組みを展開してきた。しかしながら、予土線での落石による脱線事故や本四

備讃線橋梁部におけるレール損傷、車両からの部品落下など安全に関わる事故・事象が繰り返して発生。若手・中堅層の離職やエキスパート組合員の退職、業務量の増加が「安全の教育・醸成・継承」に影響していることを危惧している。安全を守る原点は常に職場にあり、現場最前線に奮闘する組合員、分会の声の重みを感じ、一層踏み込んだ労使協議を通じて、引き続き安全最優先の企業風土・文化が労使で醸成されるよう強い想いを持ち取り組んでいく。組合員一人ひとりの更なる安全意識の高揚と、お

客様の安全はもろもろの「JR関係労働者」の死亡事故・重大労災ゼロの完遂をはじめとして、グループ会社を含めた全職場、全組合員が妥協することなく「安全最優先」で取り組むことを要請する。

**2023 春季生活闘争 について**  
定期昇給完全実施と「ベア3,000円」の獲得、制度改善に向けて、「ユニオンビジョン2023」も活用しながら交渉に臨む。

JR産業はコロナ禍の影響を最も受けた産業であり、そのダメージは深刻。組合員の生活を苦しめている物価の高騰等は、

会社の経営環境にも大きく影響を及ぼしており、厳しい交渉が想定されるが、JR産業の魅力回復・向上に向け「ONE TEAM」となって働く仲間との力を結集し、未来を見据えた「人財への投資」を積極的に求める。『未来づくり春闘』を展開する。JR四国労組は責任組合であり、様々な課題に対し、これまでも一方的に会社任せにしたことはなく、今後も共有していく。効率化で生み出した原資の人財への還元を求めるのみならず、コロナ禍によって大きく変化した社会環境、若手・中堅層の勤労観の変化に応じた賃金体系や就労形態の整備は急務。『キョウワーカー』

取り離職問題を解決しなければ、企業存続も危ぶまれる。キョウワーカーに相応しい労働条件に引き上げるため、効率化などによって生み出された原資を第一義として、安全の実践を要請する。苦境を克服し、会社の発展と組合員・家族の幸せを実現させるべく、共に力強く進んでいこうと呼びかけた。

と誇り」を持ち、社会変化に柔軟に対応しながらも、決して揺るがず、安全を第一義とした運動方針の実践を要請する。苦境を克服し、会社の発展と組合員・家族の幸せを実現させるべく、共に力強く進んでいこうと呼びかけた。

**政策課題解決と政治活動の取り組みについて**  
JR四国グループの持続的な成長のため、政策課題解決と政治活動の取り組みは欠かせない。これまでJR連合をはじめ「JR連合国会議員懇談会」や「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」、「JR四国労組『四国の

鉄道を考える国会議員連絡会」、「JR四国労働議員団会議」など多くの方々の理解と協力をいただき、とりわけJR二島・貨物の経営自立や新幹線・高速鉄道ネットワークの構築など活動を展開してきた。今後も、2025年度以降の支援策を含め継続して取り組んでいくとともに、従来からの課題に加えコロナ禍によって更にクローズアップされている地方ローカル線の課題解決などにも早急に取り組む必要がある。2023 統一地方選挙に向けて、JR四国労組一丸となり推薦候補の必勝に対する力強い取り組みを要請する。

議長には、愛媛支部より河野本部委員を選出。議事では、執行部より定期大会以降の経過、当面の取り組みや「ユニオンビジョン2023」を提起。各支部・各専門部会・青年女性会議を代表する11名の本部委員・特別本部委員より春闘方針、業務課題、離職・要員問題、「ユニオンビジョン2023」等に関する質疑を受けた後、執行部答弁を経てすべての議案が満場一致で可決された。その後、矢野青年女性会議議長より委員会宣言(案)が読み上げられ、これを承認。最後に、2023 春季生活闘争を闘い抜き、組合員の明るい未来をつくりあげようという「団結ガンバロー」で定期本部委員会を締めくくった。



# 質 疑

## 香川支部

◆賃金の低さや昇給の遅減、エキスパート社員の特待一時金に係る係数の存在は離職拡大やモチベーションの低下を招いている。また、コロナ禍で会社の将来を不安視する組合員も少なくない。人材の確保・定着には「一人への投資」が必要不可欠であり、現行の人事・賃金制度の見直しを通じて、55歳以上の基本給支給率率、第一基本給の見直しなど、賃金カーブや生涯賃金に係る議論の見える化が必要である。組合員が将来に希望を持てるよう今春に希望を持って、処遇改善にこだわった交渉を展開されたい。また、各種手当について、様々なワンマン列車運転方式に対応している運転士の負担に鑑み、乗務員手当や教導手当の増額、信号扱い業務や工事監督に係る手当等の新設も求める。

◆工務職場や検修職場では、エキスパート社員の退職により要員不足のほかに技術継承にも問題を抱えている。今後どう安全を確保するのかが会社の考えを教えるべきである。◆昨年のダイヤ改正では、特急列車の乗り継ぎなど効率的な運用が実現し、乗務員の拘束時間短縮が図られたが、改善の余地はまだある。「ユニオンビジョン2023」や「働き方改革創案 アクションプラン2021」を有効活用し、会社に働きかけていただきたい。宇和島運転区では交番担当を隔日交代

◆賃金の低さや昇給の遅減、エキスパート社員の特待一時金に係る係数の存在は離職拡大やモチベーションの低下を招いている。また、コロナ禍で会社の将来を不安視する組合員も少なくない。人材の確保・定着には「一人への投資」が必要不可欠であり、現行の人事・賃金制度の見直しを通じて、55歳以上の基本給支給率率、第一基本給の見直しなど、賃金カーブや生涯賃金に係る議論の見える化が必要である。組合員が将来に希望を持てるよう今春に希望を持って、処遇改善にこだわった交渉を展開されたい。また、各種手当について、様々なワンマン列車運転方式に対応している運転士の負担に鑑み、乗務員手当や教導手当の増額、信号扱い業務や工事監督に係る手当等の新設も求める。

# 愛 媛 支 部

## 愛媛支部

◆要員不足により、若手社員への技術継承、技能向上に対する手厚いフォローができていない。要員確保を強く会社に訴えていただきたい。また、要員不足により年休も取得できていない。買い上げの検討もお願いする。

◆睡眠時無呼吸症候群(SAS)の治療器具のレンタル料について、実費が全て本人負担となっており、会社からの補助をお願いする。

◆要員不足により、若手社員への技術継承、技能向上に対する手厚いフォローができていない。要員確保を強く会社に訴えていただきたい。また、要員不足により年休も取得できていない。買い上げの検討もお願いする。

# 徳 島 支 部

## 徳島支部

◆徳島支部の組合員も定期昇給、ベースアップに強い期待感を持っている。賃金は最大の労働条件であり、物価上昇に可処分所得が追いついていない。ベアを勝ち取らないと離職に一層拍車がかかる事態になりかねない。生き生きと働き続けることができ、西社長年の年頭訓示にあった「ATM」も全社員が取り組むことができる会社になるよう、団体交渉委員の奮闘を期待する。加えて各職種の少すも業務量は増加している。一人ひとりにかかる責任の重さも高まっている。動物処理に係る手当の新設等も含めて改善を訴えていただきたい。

◆採用時サポート休暇制度は、年休が少ない若手組合員には大変有益な制度だが、準組合員には適用されない。年休付与のタイミングも社員とは異なっており、均等の観点からも制度改善をお願いする。

◆徳島支部の組合員も定期昇給、ベースアップに強い期待感を持っている。賃金は最大の労働条件であり、物価上昇に可処分所得が追いついていない。ベアを勝ち取らないと離職に一層拍車がかかる事態になりかねない。生き生きと働き続けることができ、西社長年の年頭訓示にあった「ATM」も全社員が取り組むことができる会社になるよう、団体交渉委員の奮闘を期待する。加えて各職種の少すも業務量は増加している。一人ひとりにかかる責任の重さも高まっている。動物処理に係る手当の新設等も含めて改善を訴えていただきたい。

# 高 知 支 部

## 高知支部

◆昨年末、土讃線は災害級の大雪に見舞われ、運

◆昨年末、土讃線は災害級の大雪に見舞われ、運

◆昨年末、土讃線は災害級の大雪に見舞われ、運

# 本 社 支 部

## 本社支部

◆本定期委員会の進行方

◆本定期委員会の進行方

◆本定期委員会の進行方

# 自 動 車 支 部

## 自動車支部

◆社員が生き生きと働ける

◆社員が生き生きと働ける

◆社員が生き生きと働ける

# 青 年 女 性 会 議

## 青年女性会議

◆2020春闘時には19

◆2020春闘時には19

◆2020春闘時には19

- 香川支部 土井本部委員 愛媛支部 今井本部委員 高知支部 田内本部委員 自動車支部 藤田本部委員
- 徳島支部 尾上本部委員 本社支部 筒井本部委員 青年女性会議 芝特別本部委員



### 営業部会



◆営業部会には中堅層が少なくという共通課題があり、特定の社員への業務の集中や若手の業務範囲を拡大といった負担増加を生じさせている。離職防止・定着化のために、ベアや必要手当の新設・拡充に取り組んでいただきたい。

### 運輸部会

◆昨年のダイヤ改正にて、「働き方改革創案」に基づきロング乗務の減少、日勤行路の拘束時間短縮等の改善が図られた。その一方で、泊り行路の退勤時刻が17時頃の行路もあるほか、4日行路後に超勤で乗務し実質的に5日行路が常態化している状況も続いている。引き続き働き方改革の深化化に向けて取り組まなければならない。

◆列車停止位置目標の建物位置の統一化や表示両数の減少・簡素化について、以前より答申しているが、他のエリアでは進んでいない。事故防止の観点からも停止位置目標のホーム側移設及び数の削減を早急に行うべきだ。六吹駅への宿泊施設整備が進められており、徳



島地区への女性乗務員の配属も近づいていると認識する。老朽化する乗泊所の建て替えや業務用スマートフォン等の導入による規程類のデータ化など働きやすい環境整備の推進、すべての地区での女性乗務員の配属に向けて引き続き取り組んでいきたい。また、育休から復職後の働き方について、育休をしながらは泊りや早朝出勤・深夜退勤の行路は現実的でない。働き方改革、制度改善、ハード整備について会社と議論を重ねていただきたい。

◆技術継承に向けて、高知・徳島地区では、ジェニスと技術管理との間で出向を実施しているが、高松・松山地区では要員不足から実施できていない。ベテランの定年退職が目前に迫るが人員は補充されず、検修職場の今後に対する不安の声を聞く。一方で、工場においても資材管理等に係る社員育成の課題を指摘する声もあがり、検修職場全体を見れば技術低下の危険が高まっており、運輸所と工場への定着を図り、将来に向けて検修職場の技術が守られるよう人材確保を強く会社に訴えていただきたい。

◆列車見張員は、人命と鉄道の安全運行を守るために重要な役割を担っているが、運行状況等の確認は全て人間の注意力に頼っており、入社間もない社員への従事が増えていることもあって、精神的な負担は計り知れない。先日も土讃線に待避不良事象が発生しており、取り返しのつかない事象が発生する前に補助手段として列車の接近を通知するシステムや装置の開発・導入をお願いする。

### 工務部会

◆非鉄道事業を鉄道事業と並ぶ柱とするためには、長期雇用を前提に誰もが働きがいを持つような賃金体系を構築する必要がある。中途採用でデナントリージングの専門家、用地管理の専門家等多様な人材を確保しているが、退職金算定における勤続年数はどうしても短くなる。専門的な能力を最大限発揮するために、実情

### 答弁

#### 武智副執行委員長

に鑑みた抜本的な制度改善が必要である。

◆2023春季生活闘争は、国も経済界も賃金引き上げに非常に前向きな姿勢を示している。物価高騰の影響が凄まじくも賃金は上がらず、相対的に可処分所得は低下している。毎年定期昇給を確保し、2020春闘時には19年ぶりに賃金改善が図れたが、必達目標賃金には届いていない。コロナ禍の影響を受け、会社は厳しい経営環境に置かれており、足下の支払能力論で判断するのは、将来のありたい姿を実現するために「一人への投資」が必要だと交渉で強く問うてきた。春闘今春闘は「未来づくりの春闘」として、ベア3,000円を要求する。組合員の働きに相応しい賃金水準となるよう、明るい未来を描けるよう鋭意交渉を行っていききたい。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。



武智副執行委員長

金体系となるよう会社と協議していききたい。◆諸手当について、手当に頼らない賃金体系、基本給の引き上げが重要であることは言わずもがなだが、責任の度合いや内容が踏まえ、必要な手当は引き続き求めていく。サイバーセキュリティ等の役割に對して手当がないとの意見もあつたが、仕事を任せられていることへの対価をどう考えるのか、魅力が感じられる役割と務めるためには、例えば職務手当を拡充することも考えられるが、原資をどう割り振っていくか、会社と議論していききたい。また、発言にあつたAT車限定解除やSASの治療に係る費用についても業務に關して必要なもの会社負担とするよう求めたい。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。



中村書記長

方への導入、泊まり勤務や不規則勤務などの見直しといたった働き方改革は急務。JR産業の特性上、深夜・早朝の時間帯や休日における勤務は一定程度必要なもの、極力負担の軽減を図っていききたい。昨今の就労感からすれば、泊り勤務や夜間作業が敬遠される傾向にある。改善できる部分は変えていく必要がある。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。



中野執行委員

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。



石川執行委員

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。

べきか、会社と議論していききたい。中間決算を見れば、ジェイアール四国バスの収入はコロナ前の半分にも満たない。安全・安定・安心輸送の実現により、収入確保に努めていただきたい。春闘でしっかりと会社と交渉していききたい。◆工務部会が以前より言及してきた列車見張り業務に係るハード対策について、会社も少しずつ検討状況を開示するようになり、前進していると感じる。しかし、現に待避不良事象は起きており、実現に向けてスピード感が求められる。最重要課題である安全の確保に向けて、事象の検証や会社との議論を徹底していききたい。◆人財確保について、「ユニオンビジョン2023」では採用力の強化にも言及している。採用活動自体は団体交渉事項ではないが、四国内の他社や同業他社に見劣りしない労働条件にする必要があることはしっかりと訴えていききたい。

### 事業開発部会

◆非鉄道事業を鉄道事業と並ぶ柱とするためには、長期雇用を前提に誰もが働きがいを持つような賃金体系を構築する必要がある。中途採用でデナントリージングの専門家、用地管理の専門家等多様な人材を確保しているが、退職金算定における勤続年数はどうしても短くなる。専門的な能力を最大限発揮するために、実情

◆今年度も離職に歯止めがかかっておらず、過去最多となっていた2019年度を超え、約1,000名に達している。労働条件の改善により離職防止につなげたい。特に工務職場や検修職場で要員が逼迫している状況は把握している。会社も喫緊の課題として認識し、検討はしていきたい。会社からは説明を受けている。



工務部会 中田特別本部委員



事業開発部会 中谷特別本部委員



としても、支部・分会運営に資する資料やマニュアルの作成を行っていき

労働者共済（月額780円）に加入した

活動については、JR四

組合員向けに、青年女性会議役員をはじめ非専

石川執行委員

政策課題の解決には政

組合員向けに、青年女性

石川執行委員

政策課題の解決には政

組合員向けに、青年女性

石川執行委員

政策課題の解決には政



中村書記長 総括発言（要旨）

安全・安定・安心輸送の確立について

ご参集いただいた皆様

JR連合傘下では、昨

ご参集いただいた皆様

JR連合傘下では、昨

ご参集いただいた皆様

JR連合傘下では、昨

多様かつ優秀な人財の確

JR連合傘下では、昨

JR連合傘下では、昨

JR連合傘下では、昨



JR連合 第35回中央委員会開催！

JR連合は2月1日

3年ぶりに傍聴を含む

JR連合は2月1日

3年ぶりに傍聴を含む

JR連合は2月1日

3年ぶりに傍聴を含む

幹線ネットワークの構築

3年ぶりに傍聴を含む

3年ぶりに傍聴を含む

3年ぶりに傍聴を含む

幹線ネットワークの構築

3年ぶりに傍聴を含む

3年ぶりに傍聴を含む

3年ぶりに傍聴を含む